

こころの便り

第239号

令和2年2月

〒679-4343
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二
株式会社新宮運送グループ
代表/木南 一志
kminami@shingu.co.jp
電話 079-11-751212



新宮運送ホームページ

良い氣を発する

ようやく暖かい冬ではありませんでしたが、季節は春に向けて動き始めています。今年の桜は多くの予想通り早くなることでしょう。

仕事をする上で大切なことを考えてみると、そのひとつに「自分から嫌な思いを発しない」が挙げられます。働きの対価がお金となるのですから、楽にできる仕事ばかりでは決してありません。だからといって、自分に都合のいい仕事ばかりを選んでいたら、残されるのは嫌な仕事ばかりになります。その結果、何が起きるかというところ、あなたの行動が原因でチームワークが悪くなり、周りの人から批判されるようになっていきます。しかし、当の本人は日頃から自分のことしか考えていませんから、嫌われていくことに気づきませぬし、注意してくれる人もいなくなります。負の連鎖となって、自分を追い込んでいくことになるのです。

マイナスのことが起きた時に、どう自分を切り替えるか。心身統一法を生み出した中村天風師の教えによると、神様でもあるまいし、立派なことばかりを考へることなど出来ないのだから、マイナスのことが出てきたら、即座に打ち消せというのです。心配したり、不安になったりすることを、今までは当たり前前と思っていたが、これから

は違うと否定することによって、マイナスのことが起きて来なくなるのです。

「さしあたる、その事のみをただ思え、

過去は及ばず、未来知られず」

いくら心配しても、物事は好転することはありません。心配すればするほど悪くなることはよくあります。明日のことは誰であつてもわかりません。起きてもないことを心配するのではなく、良いことが起る原因を作っていくことなのです。あの人がいるだけで職場が明るくなるといわれる人がいる反面、あの人とは一緒に仕事したくないと避けられてしまう人の差は、日頃のそのような生活習慣にあるのです。明るく顔晴している人が、実は大変な不幸を背負っていたということがよくあります。大変な辛い経験をしたからこそ、いろんな人の心を分かってあげることが出来る人になれるのです。

自分から嫌な思いを広げない、できることから、周りの人を喜ばせることのできる人でありたいと思うのです。それは、きつと「おもてなしの心」に繋がっていくことでしょう。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拜

尋常小學校修身書 卷六 兒童用

第二課 國運の發展

明治の初にあたつて、明治天皇は、世界の文明をとり入れて我が國の發達をはかり公論によつて政治を行ふといふ大方針をお立てになりました。それから僅か六十年餘りの間に我が國運は非常な進歩發達を上げました。

昔は、國民は國の政治にはもとより、自分等の住む町や村の政治にもたづさはらなかつたのです。それが今日では、自分等の住む市町村の事は大體自分等の間ですることになり、また衆議院議員を選擧しなどして國の政治にも參與することになりました。

昔は、寺子屋などで少數の子供が讀み書きやそろばんを少しばかり習つただけで、國民の中には字の讀めない者もたくさんありました。明治になつてから次第に教育が盛になり、今日では小學校が到る處にあつて、國民は皆一通りの教育を受けられるやうになりました。その外諸種の學校が備つて、誰でも更に進んで十分に教育を受けることが出来ます。又學問・技藝は我が國に昔からあり來つたものや支那から傳つたものばかりであつたが、明治になつてから、盛に西洋のものも取り入れて發達をはかつたために、今日では學問も技藝も非常に進歩しました。

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせて頂いていただいております。